内村鑑三先生の書簡

第二集

A010

内村鑑三先生の書簡　第二集

布施市松氏宛書簡

在メキシコ竹村四郎氏寄贈

内村鑑三先生自筆の布施常松氏宛書簡目録

在メキシコ國　竹村四郎氏寄贈

書簡の種類	発信年月日	発信地	受信地	受信人	要件
はがき	明治三六、八、二三	相州鎌倉	日本橋蛎殻町	布施りヨ	宿泊所問合せ
電報	〃 三六、八、二四	同	横浜ステーション前 山崎屋方	同	出発激励
絵はがき	〃 四三、八、一三	千葉県山武郡 鳴浜村	滋賀県神崎郡 加村木流	布施常松	近況と来訪勧誘
封書	一九〇九年五、四	?、	メキシコ	布施常松 同 りヨ	礼状 近況
同	一九一〇、九、六	柏木	メキシコ	布施常松	紹介、依頼
同	一九一二、二、一七		同	同 りヨ 同	礼状帰國されたよろこび
同	一九一二、二、一七		同	布施	礼状 ルツ子の死、縁談等
絵はがき	〃 八、二〇	東京		布施常松	キヨ子の出迎依頼
封書	一九一三、六、一四		メキシコ	同	安洋丸初就航を視す
同	一九一七、二、九	柏木	メキシコ	同	礼状、近況

内村鑑三先生記念文庫収蔵世話人一同

拝啓 [illegible]氏の雑誌にて[illegible]拝承、大変結構な事と存じます。

内村鑑三先生と米国人一ドル[illegible]氏紹介にて今日まで[illegible]しました。

当時メキシコ布施常松[illegible]書簡（一九一七年目録[illegible]）家の[illegible]

[illegible]

1963 五月二十一日

竹村西郎

...EMURA
...ZAPA"
...UM. 14
...HIAPAS
...O.

絵はがき	一九一七、二、九	柏木	メキシコ	布施常松	織田光逸筆「遠山雪」
封書	一九一七、一〇、三〇		メキシコ	布施両人	礼状、近況
絵はがき	一九一九、九、一五		メキシコ	同	礼状
封書	一九二三、三、一一	柏木	メキシコ	布施常松 清水繁三郎	礼状、送本通知
同	一九二四、一、二四		メキシコ	布施常松	震災見舞、礼状（本文代筆）

内村鑑三先生記念文庫設置せられし事
聞き 塚本虎二氏の雑誌にて[illegible]承知、大層喜び[illegible]
資金の一部として米貨八〇ドル浅野猶三郎氏宛にて送金致しました。
尚先生の[illegible]書簡(二冊目録[illegible])家の
宝として保存し居りますが当方、熱帯多湿[illegible]寧ろ
貴文庫に供託、[illegible]如くに[illegible]左右に温存
と熱意を[illegible]いかと後々の人々に[illegible]頂くにいかが
と存じ[illegible]致しました。 [illegible]を[illegible]
合せて[illegible]
[illegible]祈ります

1963 五月二十一日

メキシコ、[illegible]

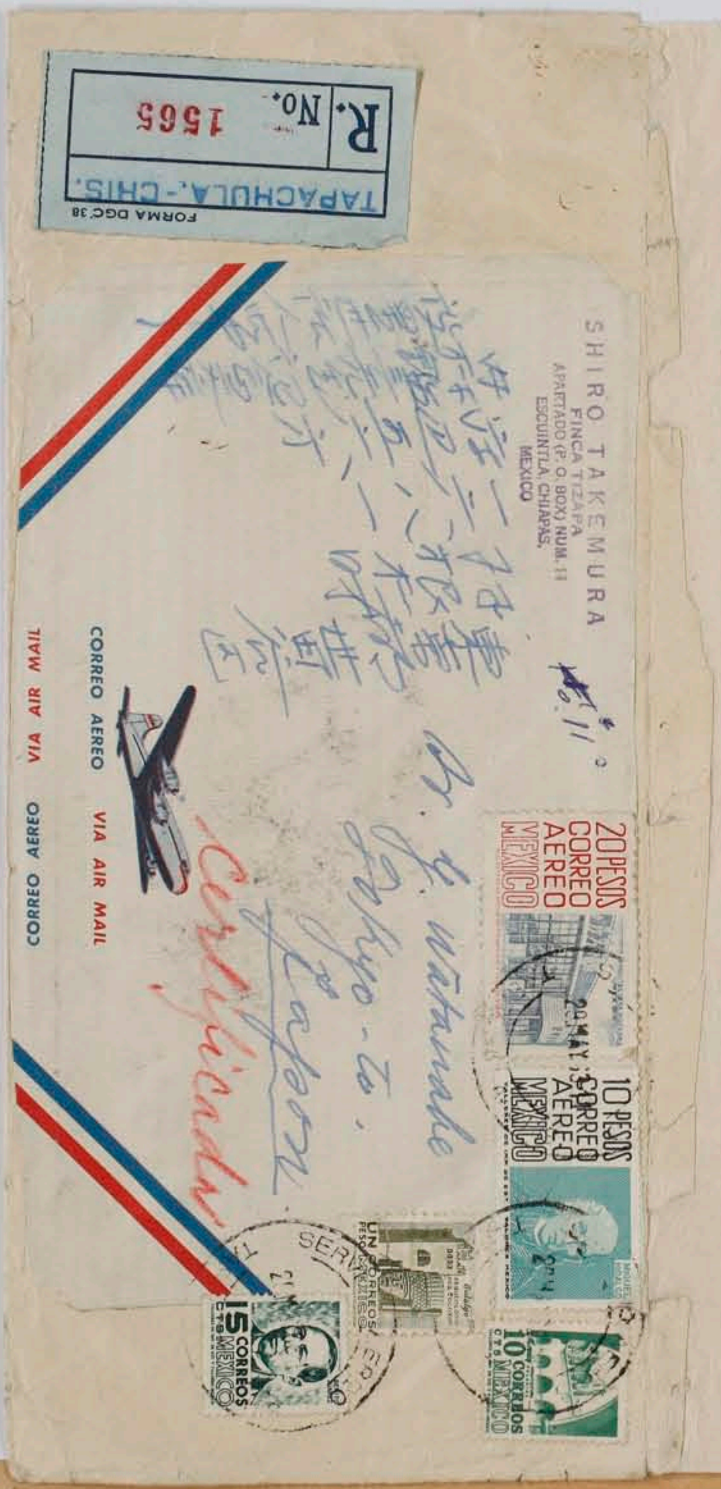
竹村四郎

SHIRO TAKEMURA
FINCA "TIZAPA"
APARTADO NUM. 14
ESCUINTLA, CHIAPAS
MEXICO.

Shiro Takemura
P.O. Box No. 14.
Escuintla, Chiapas, México.

Mr. G. Watanabe,
Tokyo-to,
J A P A N.

CORREO AEREO AIR MAIL PAR AVION


R. No. 1565
TAPACHULA.-CHIS.
FORMA DGC 38
SHIRO TAKEMURA
FINCA TIZAPA
APARTADO (P. O. BOX) NUM. 11
ESCUINTLA, CHIAPAS.
MEXICO
CORREO AEREO VIA AIR MAIL
CORREO AEREO VIA AIR MAIL
20 PESOS CORREO AEREO MEXICO
10 PESOS CORREO AEREO MEXICO
15 CORREOS MEXICO
10 CORREOS MEXICO
Certificada

明治三十六年八月二十三日付 陳情書 [illegible]

1 明治四十九年五月四日付 陳情書

明治四十七年一月十七日付 陳情書

明治四十年九月二十六日付 拓本九一九ニテ請願ノ陳情状

明治四十二年二月十七日付 陳情書

明治四十三年八月二十七日付 陳情書 (十一月二日)

明治四十三年六月十四日付 陳情書

明治四十七年 [illegible]

明治四十八年 [illegible]

明治四十九年 [illegible] 陳情書

明治五十二年 [illegible]

明治五十八年 [illegible]

九件 於此通

5
46
6
276

25
25
46
150
120
1,150
600
1,750
437.525
1250

TOKYO AP [illegible] JAPAN

REGISTRADOS INTERNACIONALES MAY 29 1963 TAPACHULA, CHIS.

REGISTRADOS INTERNACIONALES MAY 29 1963 TAPACHULA, CHIS.

REGISTRADOS INTERNACIONALES MAY 29 1963 TAPACHULA, CHIS.

郵便はかき

東京日本橋区檜物町
九、對島方
布施りヨ様

相州鎌倉乱橋
内村鑑三

36. 8. 23

内村先生の書状
目録

電報在中

磯[illegible]

拝啓、陳は先日は電報下され
ゝ下有難奉存候。今日角井より
手紙有之、来ル三日行の事ニ承
り、驚入り候。就ては先生ニ一寸と
御面会致したく存じ候。横濱御
宿所至急御知らせ下されたく
早々　廿二日午后五時半

至急

九

電報送達紙

受信人居所氏名	發局	著局
717	第　號　受付 年 月 日 時 分　字	受信 年 時 分　受信當務者

報 指定

記事

發信人居所氏名

注意
他人へ宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋し直ちに之を配達したる電信局所に返戻すへし決して其受取本人へ直送し又は手渡しすへからす

著局日附印

明治三十四年五月印刷局製

郵便はかき

Union Postale Universelle
CARTE POSTALE

43.8.1

滋賀縣神崎郡
旭村木流
布施常松様

千葉縣山武郡鳴浜村
内村鑑三

御無事御帰朝を
賀す。御帰墨までには
は必ず御面会致したく
候。目下家族と共に
当地に滞留、月末ま
でには帰宅致すべく候。
一泊を期して御訪問
下されたく候。種々と御話
承はりたく候。君の御
事業の成効を甚
く歓び候。祝福が汝に
君の上にあれ
八月十三日

拝啓、二月廿一日付認め
の御書面四月十二日
正に落掌仕り候 先以て
御両方様御変り無

く益々御繁栄の由
兼玉はり大慶至極に
御座候、当方も例に由て
例の通り蕩き仕事を
継け居り候御安心下
たく候
偖此たびは御心に掛けら
れ、多々の御見舞に與
かり感謝の至りに奉存候、
御芳志を無益に消費
せざらんため直に夏の下
着を買求め、此く永く

紀念致すべくに
満移住の際は前途甚
だ案じられ、容易に満
同意申上兼ねい得ざりし
も今日に成りて考ふれば
満洲行は最良策にあ
りしこと明白と相成り、
満両方様のために賀し、
且つ神に感謝致しに
日露戦争の後の日本は最
も憐れある者に有之、
此分にて行かば前途益

々窮迫に陥り申すべく候。御両君に於ては終生御帰国なきやう御勧め申上候。

当方様子は雑誌面にて御承知下されたく候。日曜日の集会は例の通り継ぎ居り候。駒場よりも矢張二人程参り候。併し大学生の人達は卒業後は十中八九までは信仰を棄て申し候。今日

の所では強国ある信者
大きな農村に起り来りしに
是れ大なる希望に候
處に
差し候寫眞取れかねしかど
一枚候送り被下たく
當方のも取れ次第差
出申すべくに
候差出の為替は独
逸国ケルンを経て一週
間前に着致しに候
送附の（候地郵便局）受取証は紀念と

して長く保存せらるべく候

右御礼まで申上候

神の御恵は澤山に貴家の中に充ちんことを

~~神~~祈上候　艸々

千九百〇九年

五月四日

内村鑑三

布施常松様

同　おりよ様

11

919 Kashiwagi, Tokio, Japan.

愛する布施常松君　　九月六日

拝啓。当方よりは常々御無沙汰申上候。山林君帰港毎に品々御送り被下感謝の至りに奉存候。今や Armadillo は床の間を飾り。鸚鵡は家族の一人となり其メキシコ音を以て日々我等を喜ばせ且つ慰さめ居り候。我等はメキシコ語其儘を採用し彼をローラと称し申候。ローラ、パーカ、オハヨー とは彼が最も多く語る所に有之候。餌料としては玉蜀黍を用ゐ居り候。其他の物は一切好み申さず候。其れには少々閉口致し居り。

明七日紀洋丸御地に向け出帆致し候。同船にて村岡良二氏渡航致し候。御迷惑を掛けざるやう呉々同氏に申聞かせ置候。普通の御懇切の外は餘り多く御かまひなき様願上候。第一に貴地に到る者が我等同志中の最善の者にあらざるを悲み申候。然し後より續々と御地諸君を満足するに足る者を差出したく存候。小生家族は何れも渡航を望み居候。下婢キヨは切に其れを望み居り候。若し御都合附きて御呼び寄せ被下候はゞ一同の幸福に有之候。彼女は身体も健かに、気質も宜しく。且又渡航費は自辨仕るべく候。日本に在りて跼蹐たる生涯を送るは殆んど耐え難きことに有之候。

村岡氏を以て少々の物。家内より御婦人方へ御送り申上候間御受取り被下度候。

二白、家内よりも宜しく申出候、

拝啓、先日山桝君帰港致し、御書面並にアーマジローを持参致し呉れ、

萬事は山桝君へ申上置候間同君より御聞き取り被下度候、心の状態は雑誌面にて御承知被下度候、

御事業の上に祝福の豊かに下らん事を常に祈り上げ候、一同より宜しく申出候 草々

千九百十年 九月六日

東京柏木にて

内村鑑三

この手紙の年号「千九百十年」は「千九百十一年」の書き誤りではないかと思はれる。
従って次の手紙と前後に入れかえて読むべきではないか。

御両人様の御容子委
細に承はり一同安心仕り、
長の御航海さぞかし御
難儀のこともありしならんと
深く御推察致し居り、
トカゲは途中にて傷き出に
て届も申さず、アルマリローは
肉は腐りしも鎧(よろい)は其侭
にて落手仕り、直に剥製(はくせい)に
致し立派なる床ノ間の置
物と相成り、今は来客に

對し祐之一々説明の任に
當り居りしが此次そはメキシ
コの虎が參る由に付き遠
からずして柏木に於てメキシコ
博覧会が開かるる由申
居りしが

実に先般の満帰国は小
生共に同志一同に取り
大なる神の恩恵に有之候、小
生等は自身の活動の區
域の大に擴められしやうに
感じ、感謝の至りに不堪

り、願くは神が貴家御
一同を御恵みありて、貴地
に於て新日本国を起し
給はんことを遥かに祈る。
おキリスト人よりルツ子への御
手紙最も面白く拝読、
但しルツよりも御返辞差
上ぐべく候得共、キリスト人より
も斯かる御書面を度々
ヒトやう願ふ。
右申上たく、貴地教友
諸君へ宜しく御傳へ乞ふ。

おくりに家内よりも宜しく
申出に　草々

1911二月十七日
内村鑑三

布施常松様
同おりよ様

—

当国未だに「社会主義者」の取締最も厳密に有之か諸君の清地に於て羨を自由の天地に逍遥

せらるゝを遙かに清羨致
申上候、

拝啓、先般山枡君帰
國の節は種々と清高誼
を清傳へ被下、且又多額

の御寄附御送り被下
感謝の至りに奉存候、常
に受くるのみにして與ふること
なく、恥かしき次第に有之候、
早速御返辭致すべき
所、御承知の通り娘ルツ子
一月十二日終に永眠致し、
憂愁やら取込ヤ（やら）満て今日
まで遅延致し失礼仕候
殊に御申越のキヨ子縁談
の事、早速取まとめたく存候
得共、何分にも田舎者で
相手の事とて、ウチあき申

さず、今日に至るも未だ御確答申上ぐる能はざる次第にて是れ又不本意の至りに奉存候、尤も本人は已に決心致し、又生家にて毫も不成賛は唱へ申さず、只御地の事情の善く解らざるための進んで賛成するまでに至り不申、依て其中小生より直に委細を説聞かせ、全家親類挙って賛成致すやうに取計らひたく存候、右の次第故確乎たる御返辞は尚暫時御猶豫願上候、然し事は

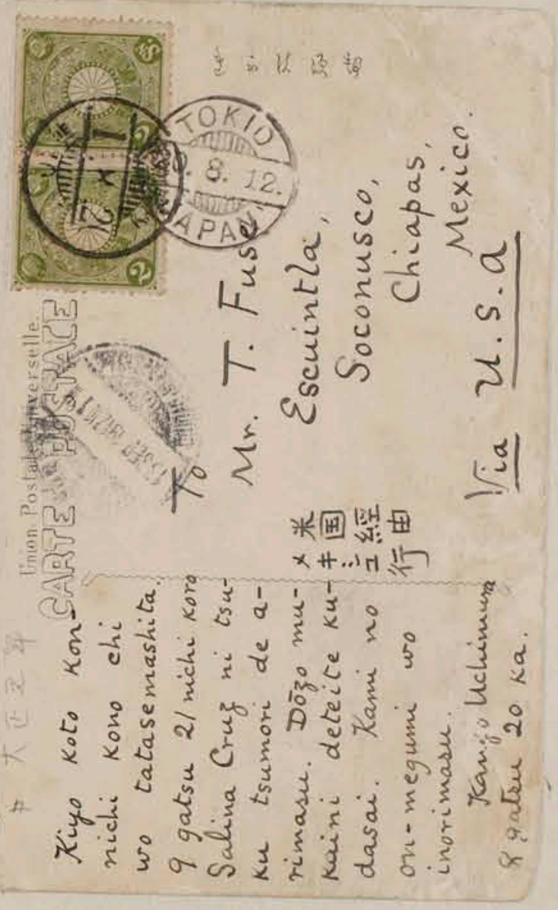
七分通り確定せしものと
御承知下されたく候、
高田君並に村岡君より
結構なるチヨコレート澤山に
御送り被下、感謝の至りに
奉存候、前述の次第にて
未だ御礼状を差出し不申
候得共、貴兄より宜しく御
傳へ下されたく候、
御家内様並におまりさんへ
宜しく願上候、
実に子を失ふにまさるの
悲痛は無之、ルツ子は今や
父の国に旅して安全なるを吾は
知りながら涙は湧出て盡きも

写真は、当方のため特に清新
りしがたには　草々

1912
二月十七日
鑑三

在メキシコ
布施君

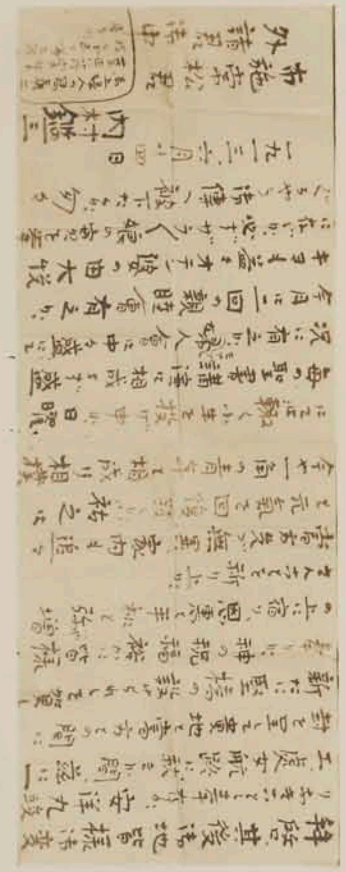
拝啓、其後御地皆様御変りなきこと奉存候、安洋丸竣工、處女航路に就きし間、茲に一封を呈して貴地と當方との間に新たに堅橋の設けられしを賀し


Union Postale Universelle
CARTE POSTALE

Kiyo Koto Kon-
nichi Kono chi
wo tatasemashita.
9 gatsu 21 nichi kora
Salina Cruz ni tsu-
ku tsumori de a-
rimasu. Dōzo mu-
kuini deteite ku-
dasai. Kami no
on-megumi wo
inorimasu.
Kanzo Uchimura
8 gatsu 20 ka.

To
Mr. T. Fuse
Escuintla,
Soconusco,
Chiapas,
Mexico.
Via U.S.A.
米国経由
メキシコ行
TOKIO 8. 12. JAPAN

奉りに神の祝福裕かに皆様の上に宿り、恩惠と平和と弥々増さん事を祈り上げ候
當方先ず無異、家内も追々と元氣を回復致し候、祐之は今や一角の青年と相成り相撲にては輙く小生を投げ申候、日曜毎の聖書講演は相成らず盛況に有之候、婦人會は中々盛にて今月は二回の親睦會有之候、キヨも益々オテン婆の由大悦に存じ候、必ずザラ〳〵娘の實を挙



ぐろやう滞傳へ被下たく匆々

一九二三、六月十四日

内村鑑三

市施常松君

外諸君

滞中

馬上婦人ら寫眞二葉正に拝掌仕、弘人ど每日噂を致し居り候

不安のことなく保得共、又暴人の手の觸るゝ能
はざる所に我等の真の寶の藏かくれあるを知れば別に
恐ろしの必要は無之ことと存じ候、全能の聖手御地僧
君を守り永遠に安からしめ給へとは小生の時々祈る
所に有之候
当方大体の様子は雜誌面にて御承知下たく候
祐之も今は大男と相成り、高等學校の野球
の選手に有之候、彼は寄宿舎に在りて家は小生等夫婦
二人に有之候、今年は雜誌は第二百号に達し
又小生等結婚第二十五年に當り小生にとり頗る御目出度き
年に有之候、高田夫婦へも宜しく御傳へ下たく
ハヽ　草々
一九一七年二月九日
内村鑑三
東京柏木

郵便はがき

CARTE POSTALE

TOKYO DESIGN PRINTING 登録商標 TRADE MARK KANDA TOKYO

在墨國
布施常松君
御夫婦へ

東京圖案印刷社製

在日本国
内村鑑三
仝 静子
一九一七、三月九日

大正六年

る次第に有之候、御地に於ては殊に甚御
しの簡短なる言は斯る時に於て其貴さを味ひ得
するを得て大なる慰附に有之候「我等の國は天に在り」
最も深き所に於て世の知らざる大なる平安を発見
能はざるに到り候得共、我等主キリストに在る者は
全世界は闇黒と化し安き所としては地上に之を見る
通の絶えざることは大なる慰附に有之候、今や
存候、如斯にして在墨國の愛する教友との交
チヨコレート多量に御送り被下誠に有難く奉
候、先般坂本兼君帰航の節は又々御手[illegible]
特啓 当方よりは不相変御無沙汰仕り申譯無之

在メキシコ
布施常松君

KANZO UCHIMURA
919 KASHIWAGI,
TOKYO, JAPAN

東京府下淀橋町柏木九一九
内村鑑三

布施常松様
米国経由
メキシコ行

Sr. T. Fuse,
Esquintla,
Soconusco,
Chiapas, Mexico
Via U.S.A.

丁巳美術試作會員作品

勅題（遠山雪）　織田光逸筆

御注文の雑誌中、九月分品切れにて小生使用後の
破本差上げ候 不悪御承知被下度候

拝啓、御書面正に拝見仕り候 御両人様御変りなき由大慶に存候
当方よりは思ひながら御無沙汰仕り候 先日は美事なるチヨコレート沢山に
御送り被下有がたく奉存候 近日御上京の由、御宿泊は今井館に
御定め被下、当方より御出発被下度候 小生等家内里方老人
永眠のため、其跡片付けの為暫らく京都へ参り居り、漸く近頃
帰宅致候ために皆様へ御無沙汰仕り失礼仕り候 其内御面
会の上萬事申上ぐべく候 草々

1917 十月廿日

内村鑑三

布施御両人様

KANZO UCHIMURA
919 KASHIWAGI,
TOKIO, -- JAPAN

3月 11日 1922.

布施常松君
清水繁三郎君

拝啓
其後御両兄益々御清栄と存じ賀し奉り候。
扨て先般は山林船長帰國の節は又々結構なる品々御贈り被下誠に難有存じ候。
殊にチヨコレートは相変らず高味にて多くの友人にも少しづゝ分配致し彼等の感謝と賞讃を博し申し候。遠く此地にありて御手製の品々に接するは大なる悦び併びに名誉に有之候。
當地の様子は万事雑誌面にて御承知被下度候。人口益々稠密に相成り生活日々に逼迫。此上如何になり行くや甚だ心細き折柄、御地に於て廣々と土地を占有せらるる御両兄の境遇こそ誠に羨ましく存じ候。
道徳問題、宗教問題と言ひ多くは食物問題に負ふ處あり。之を解決せずしては何事も発展仕らず候。
此上とも充分に御努力あり最初の御志望を御貫徹あらん事を偏へに願上候。

右御禮までに申上候。
家内よりも厚く御禮申し出で候。匆々

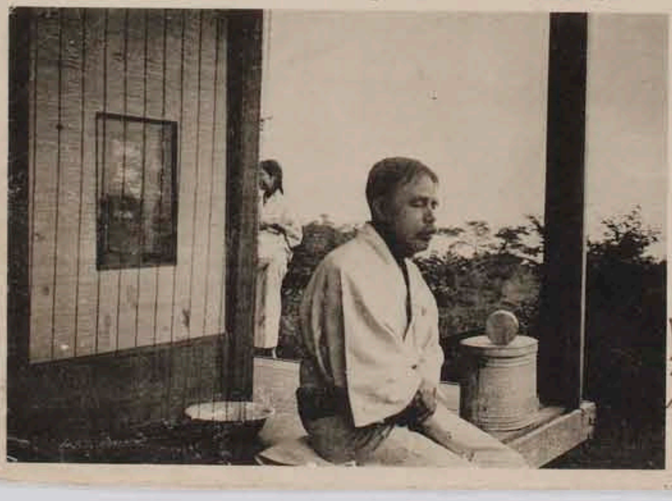
一九二二年三月十一日

内村鑑三

当方よりは別に差上げる者がありませんから
ルーテル加拉太書註解譯一冊づゝ別封を以て送って置きました
御落手を願います

内村先生那須山麓の休憩　背後に立てる少女は先生のオルガニスト吉澤なを子

Mr. Kanzo Uchimura resting at the foot of Mt. Nasu.
The maiden standing behind him is his organist, Miss Nao Yoshizawa.



へ宜しく願上候　当方祐之も今年は廿三
歳に相成り医科大学に入学致し候
小生も明年は六十歳に相成り候　然し学
生時代と少しも変らざる積りに有之候　草々
布施淡両人様
内村鑑三

拝啓
御地皆様御変り無之事と存じ候。
此の程は金弐百円也御送金下され正に落手仕り候。
之は多分、御地諸兄姉よりの震災御見舞と存じ
感謝して頂戴仕り候。御承知の通り、中央講堂は焼
失いたし、止むを得ず柏木前講堂を改築し、一時間に合せ
居る次第に有之、色々と入費も加はり候折から、御
援助の程一層有難く存じ奉り候。震災の直接の
結果は別として、間接の結果は頗る多く、之に應ずるは
随分の困難に有之候。猶當方のため引つゞき御祈り
下されたく候。　萬事は雑誌面にて御承知下され度候。
祐之も成人いたし、目下は精神病院のドクトルとして毎日通勤
致し居り候。家庭は全体に平和に有之候。然し色々の問題
の起る事は止むを得ざる次第に有之候。
御地皆様の御繁栄を祈上候。
清水、松田氏等へもよろしく御傳へ下されたく候。草々。
一九二四年一月二十四日

POST CARD

9 gatsu 15 nichi 1919.

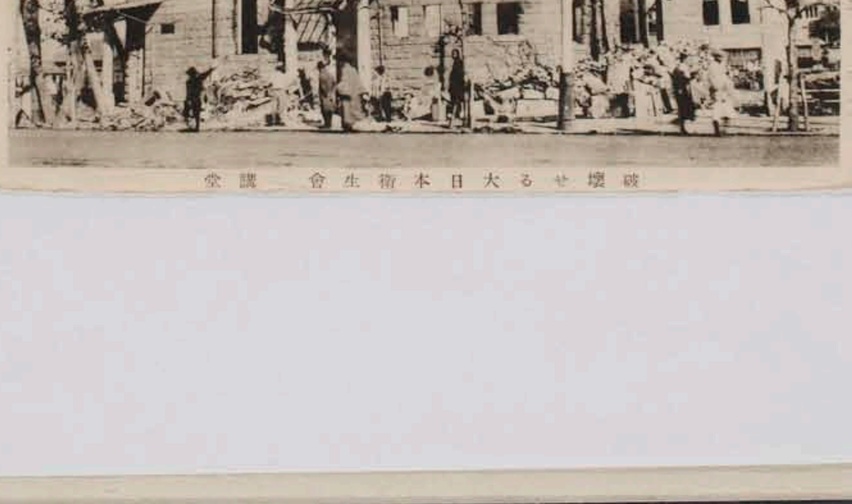
主の御導きの下に平安なる御
生涯御継続の由承はり大慶に
存候が、当方よりは相変らず御無
沙汰仕り申訳無之候。萬事は雑
誌面にて御承知被下度候。
先般安洋丸帰航の節は貴重
なるチヨコレート澤山に御送り被下
と毎度ながらの御厚志感謝の
辞無之候。室は喜ぶ品にて大悦
事に使用致し居候。御地は少
しは静まりしやう子に有之候得
[illegible]

拜啓、
御地皆様御変り無之事と存じ候、
此の程は金弐百円や御送金下され正に落手仕り候、
之は多分、御地諸兄姉よりの震災御見舞と存じ
感謝して頂戴仕り候、御承知の通り、中央講堂は燒
失いたし、止むを得ず柏木箇講堂を改築し、一時間に合せ
居る次第に有之、色々と入費も加はり候折から、御
援助の程一層有難く存じ奉り候、震災の直接の
結果は別として、間接の結果は頗る多く、之に應ずるは
随分の困難に有之候、猶當方のため引つゞき御祈り
下されたく候、　萬事は雑誌面にて御承知下さる度候
祐之も成人いたし、目下は精神病院のドクトルとして毎日通勤
致し居り候、家庭は全体に平和に有之候、然し色々の問題
の起る事は止むを得ざる次第に有之候、
御地皆様の御繁榮祈上候、
清水、松田氏等へもよろしく御傳下されたく候、草々。

一九二四年一月二十四日

内村鑑三

布施常松様



破壊せる大日本衛生會　講堂

POST CARD

KANZO UCHIMURA
919 KASHIWAGI.
TOKYO, JAPAN

To
Mr. T. Fuse,
Escuintla,
Soconusco,
Chiapaz,
Mexico.

メキシコ行